

非文字資料研究

The Study of Nonwritten Cultural Materials

News Letter

2006.6
No.12

CONTENTS

調査研究から情報発信へ
4年目を迎え大幅な組織改編
It Is Time for Us to Present Our Results at Large

成果の公表、発信にむけて	3
福田 アジオ FUKUTA Ajiо	
2006年度 課題別研究担当者	4
課題別各研究の紹介	6
組織図	11

8月開催 立命館大学・神奈川大学21世紀COEプログラム
ジョイントワークショップ
「歴史災害と都市 京都・東京を中心に」
Joint Workshop of Two Universities

災害像の構築にむけて	12
Historical Disasters in Cities and Local Areas in Japan : Toward a Better Grasp of the Big Picture	
北原糸子氏に聞く KITAHARA Itoko	
立命館大学21世紀COEプログラムと ジョイントワークショップ	16
吉越 昭久 YOSHIKOSHI Akihisa	
プログラムスケジュール	17

研究エッセイ

ESSAY

租界と居留地に刻印された人間活動の営み	18
The People's Activities throughout the Settlement and the Concession	
孫 安石 SON An Suk	

コラム Column	20
日本における非物質文化遺産についての考察ノート	
宋 俊華 SONG Junhua	

コラム Column	21
私の試みた、つたない「実験」	
刈田 均 KARITA Hitoshi	

海外博物館事情

Foreign Museums

デンマーク	
デンマークの野外博物館	22
Open-air Museums in Denmark	
丸山 泰明 MARUYAMA Yasuaki	

主な研究活動	24
「景観の時系列的研究」研究会報告	25
写真、絵画資料の著作権について 出版の現場から	
香月 洋一郎 KATSUKI Yoichiro	

コラム Column	26
手のひらが受け継ぐもの	
本田 佳奈 HONDA Kana	

彙報	27
----	----

Information	28
-------------	----

表紙
写真
説明



フィールドでのスケッチから

をのぞく ~ は中華人民共和国江西省万載県潭埠郷にて。むら歩きながら竹がどのように利用されているか目についたものを記録した。

はその一部。おもちゃの刀、カゴ、ヤギの首輪など。は副業が爆竹製造のむらでの爆竹つくりの作業から。で使われている竹や木の椅子は中国の家々では最もよく見る道具のひとつになる。又木を使ってクツを干していた。

は唐鍬を砥石で研ぐ。小さな子のズボンはお尻が割れている。道のそばで小さな子供がしゃがみ、ふっと立ちあがって駆けていくと、そこにかわいいウンチが残っていたりする。のイカダ船は韓国慶北道羅北付近の浜で。主にワカメの採取に使われていた。
(香月 洋一郎)